

2040年の目指す姿（在宅療養）

希望する誰もが、生活の場で必要な医療・介護を受けながら、最期まで自分らしく安心して暮らせる東京

<取組の柱>

① 区市町村を実施主体とした、地域における在宅療養体制の確保

- ・ 24時間診療体制の整備
- ・ 在宅医療人材の確保・育成
- ・ 平時及び災害時の多職種連携の推進
- ・ 介護施設との連携強化 等

② 在宅療養生活への円滑な移行の促進

- ・ 医療機関における入退院支援の取組の推進
- ・ 入院時（前）からの医療機関と地域の多職種との連携の推進

③ 在宅療養に関わる人材確保・育成

- ・ 新たな担い手の確保
- ・ 在宅医療の質の維持・向上

④ 在宅療養に関する都民への普及啓発

- ・ 幅広い世代、特に高齢者を親に持つ若い世代に向けたACP等の周知・広報
- ・ ACPの実践力向上や地域での普及啓発のための研修

⑤ DXを活用した在宅療養提供体制の強化

効率化、患者と医療・介護関係者の安心につながる体制の整備